学習日: 月 日( )

**中学校数学** 2A1-7A

9	学	年
	2	年

## 【式の計算】⑦ 文字式の利用(2)A

<i></i>		_	年 組	氏名	
1	2けたの自然	:数と,その十の位の数	と一の位の数を入	れかえてできる自然数との差につい	
て,	次の各問いに	こ答えなさい。			
(1)	どんな数の倍	数になりますか。		答え	
(2)	(1)のことを次	このように説明した。	にあてはまる	ことがらを答えなさい。	
		けたの自然数の十の位 <sup>2</sup> との自然数は ① , -		とすると, 泣の数を入れかえてできる自然数	
② と表される。 それらの差は, ① )-( ② )					
		$= 9 m - \boxed{3}$ $= \boxed{4} (\boxed{5})$			
	(5)	は ⑥ だから, [	④ ( 5 )は(	⑦」になる。	
	したがっ 2 の差に	けたの自然数と、その	十の位の数と一の	位の数を入れかえてできる自然数と	
	<u>答え ①</u>	2	3	4	
	<u>(5)</u>	6	7		

解答

学習日: 月 日( )

中学校数学 2A1-7A

学 2年

#### 【式の計算】⑦ 文字式の利用(2)A

年 組 氏名

[1] (1) たとえば、54-45=9 31-13=18

41-14=27

したがって,

答え 9の倍数

(Point)

倍数の表し方

- 9の倍数=9×(整数)
- 11の倍数=11×(整数)

2けたの整数の表し方

+の位をm, -の位をn とすると,

(2)

〈説明〉

もとの2けたの自然数の十の位を m,

-の位をnとすると,

もとの自然数は① , 十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数は

② と表される。

それらの差は,

 $=9 m - \boxed{3}$ 

= 4 ( 5)

<u>⑤</u>は<u>⑥</u>だから, <u>④</u>(<u>⑤</u>)は<u>⑦</u>になる。

したがって,

2 けたの自然数と、その十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数と の差は、 ⑦ になる。

答え ① 10m+n ② 10n+m ③ 9n ④ 9

<u>⑤ m-n ⑥ 整数 ⑦ 9の倍数</u>

学習日: 月 日( )

**中学校数学** 2A1-7B

7	学	年
	2.4	年

# 【式の計算】⑦ 文字式の利用(2)B

<u> </u>	2			<b>Ф</b> П	rt. <i>b</i>
			年	組_	
<u>1</u>	2けたの自然こ,次の各問いに		この数と一の位の	数を入え	いかえてできる自然数との和に〜
(1)	どんな数の倍	数になりますか。			
					答え
(2)	(1)のことを,	『文字式の利用(2	<b>2)A』</b> の(2)の<説[	明〉を参え	考に,説明しなさい。

学習日: 月 日( )

中学校数学 2A1-7B

学 年

2年

### 【式の計算】⑦ 文字式の利用(2)B

#### 年 組 氏名

[1] (1) たとえば、54+45=99 31+13=4441+14=55

したがって,

答え 11の倍数

(Point)

倍数の表し方

- 9の倍数=9×(整数)
- 11の倍数=11×(整数)
- 2けたの整数の表し方 +の位をm, 一の位をn とすると,  $1 \bigcirc \times m + 1 \times n$

 $= 1 O_m + n$ 

(2)

#### <説明例>

もとの2けたの自然数の十の位を m, 一の位を n とすると,

もとの自然数は10m+n.

十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数は10n+mと表される。

それらの和は,

(10m+n)+(10n+m)=11m+11n

=11(m+n)

m+n は整数だから、11(m+n)は11の倍数になる。

したがって.

2けたの自然数と、その十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数との和は、 11の倍数になる。